



肝臓がんの最新治療を紹介した藤井科長

肝臓がん 肥満原因も

製鉄室蘭病院
公開セミナー 最新治療法を紹介

製鉄記念室蘭病院（室蘭市知利別町、前田征洋病院長）の第42回市民公開がんセミナーが5月30日、同病院がん診療センターで開かれ、市民らは肝臓がんの現状や最新治療について理解を深めた。

市民ら約60人が出席。藤井重之消化器内科・血液腫瘍内科長が肝臓がんの内科的治療について解説した。藤井科長は「肝臓がんの8割は血液を介して感染するB型肝炎、C型肝炎ウイルスが原因。近年は非アルコール性脂肪肝炎が原因のガンも発生している」と述

べ、肥満も肝臓がんのリスクになっていると説明。

その上で内科的な治療法として、特殊な針を体に刺し患部を焼く方法とがん細胞に栄養を送っている動脈に栓をする方法を紹介した。

このほか藤井科長は「近年は効果的な抗がん剤もいくつか保険適用となっている」と述べ、今年3月に保険適用となったばかりの薬や今後保険適用になりそうな薬を紹介。話題になっている「免疫チェックポイント阻害薬」についても分かりやすく説明した。（北川誠）